

電気電子工学科

～卒業生クラス紹介～



電気電子工学科5年担任 **西城 理志**

卒業生に贈る言葉

5年生、専攻科生の皆様、卒業おめでとうございます。就職する人は、小学校からの長い学びの時間を経て、遂に社会に独り立ちすることとなります。進学する人は、まだ学びが続きますが、もう自身で十分に道を決められることでしょう。

これまで皆さんは、教えられたことをどれだけきっちり行えるか、という尺度で能力を評価されてきました。いわば受動的な状態が評価されてきたとも言えます。ですが、社会に出るとこれは場合によっては異なります。社会のルールや文化の中で、規律を持って行動することは非常に重要です。しかし一方で、すべて受け身では新たな価値は生み出せません。皆さんは将来新たな価値を創出する能動性を囑望されています。実際にそのための基礎的な能力はもう身につくつあります。ですから是非これからは、「自分自身が少しでもいいから新たな価値を生み出すのだ」という意思を育てて欲しいです。なお、これは私生活でも同じです。自分で稼いだお金で、どんどん新たなことに挑戦してみてください。人生がきっと楽しくなります。

最後に、もしよかったら20年間以上に及び庇護してくれた保護者への感謝も伝えてください。これまでは毎日当たり前のよう一緒にいたが、家を出るとなんと年に数日くらいしか会わなくなります。

電気電子工学科5年代表 **高山 遼**

図書館のすゝめ

世の中にはあまりにも多くの娯楽が溢れているが、本ほどよくできた娯楽は見たことが無い。言葉、知識、表現、思想を学ぶにはちょうどいいし、自分のペースで好きなように読み進み、読み返せるのが良い。小説なんかは文字から頭に情景を作り出すと時間も忘れて没頭してしまう。専門書も、ささいな興味から新しい知識を取り入れて、自分の扉を開くのに向いている。それが本だ。このよくできた娯楽を無料で楽しみ放題だというから図書館という施設は最高で、特に我々高専生は図書館の利用にあたって実はかなりツイている。ここの図書館は一般書架から書庫(出入り自由、すごく楽しい!)まで、実に多くの本を擁するほか、欲しい本はリクエストを出すと一週間ほどで追加してもらえる。イベントも積極的に開催されており、本を通して人と交流するのも楽しい。

そんなわけでこの学校の図書館はすごく面白い。もしこの文を読んでいる高専生がいたら、ぜひ図書館に足を運んでみてほしい。何か借りなくても、ぶらぶら歩いて立ち読みするだけでも面白いはずだ。これはある先生の受け売りだが、「図書館と教員は使えよう」なので、せっかく入学した高専を楽しみつくそう。

